

野田市水道事業運営審議会次第

日時 令和6年8月30日（金）

午後1時30分から

場所 野田市水道部お客様センター2階会議室

1. 開会

2. 水道事業管理者挨拶

3. 会長挨拶

4. 諮問

5. 議題

1 「未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）」について

6. 閉会

未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）について

1 未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）の目的などについて （未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）P1～4、P135～137）

(1) 目的

厚生労働省は全国的に顕在化している人口減少や危機管理対策の強化の必要性など、水道事業を取り巻く大きな環境の変化に対応するため「地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道」を基本理念とした理想像（安全な水道・強靱な水道・水道サービスの持続）を示した「新水道ビジョン」を平成25年3月に公表し、全国の水道事業体に対して長期的視点を踏まえた戦略的な水道事業マスタープランである「水道事業ビジョン」の策定を求めています。

また、平成26年に総務省通達で、公営企業の中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定することを要請しています。

このような背景から、事業環境の変化と現状において市が抱える諸課題を踏まえ、将来の水道のあるべき姿を見据えた見直しを行い、更に「経営戦略」の機能も包含した複合型「未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）～未来を拓く 暮らしを支える水～」を令和2年2月に策定したところですが、今年度（令和6年度）は計画期間の中間点（5年毎）にあたることから、計画の見直しを実施しようとするものです。

(2) 位置付け

「未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）」は、野田市水道事業マスタープランとして位置付けられ、本市水道事業の進むべき方向として、中長期的な事業運営の基本的方向性を示すものです。

また、厚生労働省が策定した「新水道ビジョン」及び、総務省が策定を求めている「公営企業の経営戦略」に沿った複合型の計画として策定しております。

(3) 計画期間

「未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）」の次期計画期間は令和7年度から令和16年度までの10年間です。

(4) 基本的事項

水道ビジョン	経営戦略
・水道事業の現状評価・課題 ・将来の事業環境 ・水道の理想像と目標設定 ・推進する実現施策 ・フォローアップ	・現状把握 ・目標設定 ・財源試算 ・収益的収支 ・分析 ・投資試算 ・資本的収支

2 未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）の現在の計画が目指す将来像並びに基本目標及び経営目標について

（未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）P51～53、P138）

（1）野田市水道の目指す将来像について

野田市の水道が次世代やその次の世代、さらにその先の世代へと遠い未来まで、安全で良質な水道水を安定的に供給できる安心水道であり続けるため「未来構想 水道ビジョン野田」において目指す将来像を「未来を拓く 暮らしを支える水 ～次世代へとつなぐ安全でおいしい水を未来まで～」と設定し、その実現に向け全力で取組を進めてまいります。

（2）基本目標【安全】【持続】【強靱】について

いつでも水をおいしく飲める【安全】な水道

水源水質の監視や水源上流域の関係機関との情報共有、北千葉広域水道企業団及び構成団体との連絡体制の強化を図り、いつでもどこでも、安心して水をおいしく飲める水道を目指します。

また、水源から給水栓までの水道システム全体において、徹底した水質管理により、水の安全性や快適性の確保など、良質な水道水の供給に努めます。

健全かつ安定的な事業運営及び水道サービスの【持続】可能な水道

いつでも安心・安全な水の供給を持続していくためには、将来の需要予測を踏まえて適正な施設規模での更新、更新サイクルの見直しによる施設の長寿命化、適正な料金水準の設定などが必要となります。

今後、長期的な資産管理の実践と財政収支の見通しなどにより総合的に管理し、給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道を目指します。

また、事業内容について分かりやすい情報を提供するための広報活動の充実とお客様サービスの向上に努めます。

災害に強く不測の事態にしなやかに対応できる【強靱】な水道

自然災害などにより水道施設に被害が生じた場合でも、迅速かつ的確に対応できる応急活動体制や復旧体制の整備を進め、災害に強く不測の事態にしなやかに対応できる水道を目指します。あわせて、老朽化した施設の計画的な更新及び災害時の危機管理体制の強化に加え、断水時の水供給できない不測の事態においても、最低限の飲料水を配給できるリスク管理型の水管理による水供給システムの徹底強化を図ります。

また、災害時や緊急時において給水するための配水池容量の拡大や応急給水設備等の確保に努めます。

(3) 経営目標について

内部留保資金の確保

安定経営及び災害などの非常時への備えのための財源確保及び将来において増加すると見込まれる水道施設の更新需要に対する計画的な整備を図るための財源確保として、内部留保資金残高を 30 億円以上確保する。

企業債発行額上限の設定

今後、環境の変化などに伴う事業の推進や、優先的に進めなければならない水道施設の拡充・改良に対する財源としての企業債発行総額は、将来の世代に過度な負担を残さないために 40 億円を上限とする。

純利益の確保

企業債の償還などに必要な財源を安定的に確保し、現行の水道料金を維持することを必須要件とした健全な財政収支バランスを維持するために、長期前受金戻入を除く当年度純利益を 1 億円以上確保する。

3 施設の概要について（未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）P9～10）【令和5年度末現在】

(1) 上花輪浄水場（敷地面積：12,895.54㎡ 供用開始：昭和50年4月）

給水能力	15,500㎡/日
水源	表流水・北千葉広域水道企業団より受水
河川名	利根川水系江戸川
取水地点	野田市中野台609番地先（江戸川左岸）
取水方法	取水門
最大取水量	0.137㎡/秒
配水池	鉄筋コンクリート造り 有効容量 第1号：2,100㎡ 第2号：2,100㎡ 第3号：1,500㎡ 第4号：1,500㎡ 合計 7,200㎡

※上花輪浄水場は令和9年度までに取水樋管を撤去予定

(2) 東金野井浄水場（敷地面積：10,632.08㎡ 供用開始：昭和50年4月）

給水能力	16,000㎡/日
水源	地下水・北千葉広域水道企業団より受水
配水池	鉄筋コンクリート造り 有効容量 第1号：750㎡ 第2号：750㎡ 第3号：2,200㎡ 第4号：2,200㎡ 合計 5,900㎡

(3) 中根配水場（敷地面積：19,606.86㎡ 供用開始：平成5年6月）

給水能力	16,900㎡/日
水源	上花輪浄水場からの送水を受水・北千葉広域水道企業団より受水 地下水（令和7年度供用開始予定）
配水池	円筒型PC側壁球型ドーム型 有効容量10,000㎡

・非常用井戸設備

深井戸	野田市中根324番地先 口径250mm 深度200m
-----	----------------------------

(4) 木間ヶ瀬浄水場（敷地面積：6,764.00㎡ 供用開始：昭和55年4月）

給水能力	11,400㎡/日
水源	北千葉広域水道企業団より受水
配水池	鉄筋コンクリート造り 有効容量 第1号・第2号：282㎡×2 第3号・第4号：900㎡×2 第5号・第6号：1,294㎡×2 合計 4,952㎡

(5) 桐ヶ作配水場（敷地面積：6,496.40㎡ 供用開始：平成7年4月）

給水能力	3,752㎡/日
水源	木間ヶ瀬浄水場からの送水を受水
配水池	鉄筋コンクリート造り 有効容量 第1号・第2号：630㎡×2 合計 1,260㎡

(6) 関宿台町浄水場（敷地面積：1,390.10㎡ 供用開始：平成元年4月）

給水能力	1,310㎡/日
水源	桐ヶ作配水場からの送水を受水 地下水（予備）
配水池	鉄筋コンクリート造り 有効容量 第1号・第2号：294㎡×2 合計 588㎡

※将来の施設維持管理において、関宿台町浄水場を休止し桐ヶ作配水場からの給水が最も効果的と考え、平成18年度に関宿台町浄水場を経由しない連絡管を整備したことにより平成19年12月に休止

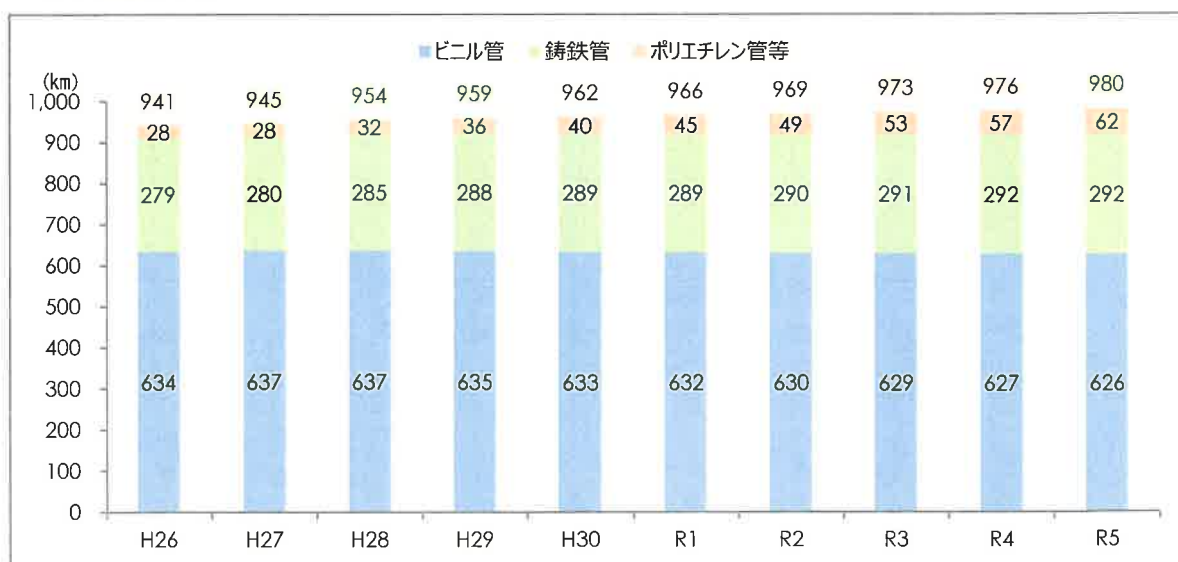
(7) 管路の概要

(令和5年度末現在)

口径(mm)	配水管(m)	導水管(m)	送水管(m)	合計(m)
50	190,850.08			190,850.08
75	301,961.71	0.98		301,962.69
100	234,097.41			234,097.41
125	1,867.31			1,867.31
150	131,900.00	933.85	7.10	132,840.95
200	40,836.85	5.42		40,842.27
250	31,568.24	8.00		31,576.24
300	10,003.87	4.19	15.67	10,023.73
350	15,931.14	36.70		15,967.84
400	13,727.70			13,727.70
450	894.50	523.10		1,417.60
500			4,466.59	4,466.59
600	170.87		40.96	211.83
合 計	973,809.68	1,512.24	4,530.32	979,852.24

管種 区分	ビニル管	铸铁管	ポリエチレン管	鋼 管	その他	合 計
令和5年度末 延長(m)	625,605.32	292,483.81	50,473.55	1,738.95	9,550.61	979,852.24
構成比(%)	63.8	29.8	5.2	0.2	1.0	100.0

・ 管路布設状況



令和5年度時点では管路の口径に対する管種は口径100mm以下についてはポリエチレン管（HPPE耐震管）を、口径150mm以上についてはダクタイル铸铁管（GX耐震管）を採用

4 水道事業の概要について（未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）P12～13）

区分		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1)	行政区域内人口	人	154,330	153,993	153,529	153,600	153,656
(2)	給水人口	人	149,926	149,862	149,391	149,071	149,208
(3)	普及率 (2)/(1) × 100	%	97.1	97.3	97.3	97.1	97.1
(4)	表流水	m³	2,154,130	1,026,530	1,034,540	1,032,030	1,019,780
	地下水	m³	331,370	293,580	280,030	287,940	280,930
	受水	m³	12,531,143	14,054,690	13,983,851	13,992,395	14,120,477
	計	m³	15,016,643	15,374,800	15,298,421	15,312,365	15,421,187
(5)	年間給水量	m³	14,835,068	15,235,239	15,173,465	15,137,884	15,269,456
(6)	年間有収水量	m³	14,076,234	14,600,385	14,568,905	14,385,660	14,267,051
(7)	有収率 (6)/(5) × 100	%	94.9	95.8	96.0	95.0	93.4
(8)	給水能力	m³/日	59,800	59,800	59,800	59,800	59,800
(9)	一日最大給水量	m³	44,391	46,067	45,284	45,537	45,159
(10)	一人一日最大給水量 (9)/(2) × 1000	ℓ	296	307	303	305	303
(11)	一日平均給水量 (5)/年日数	m³	40,533	41,740	41,571	41,474	41,720
(12)	一人一日平均給水量 (11)/(2) × 1000	ℓ	270	279	278	278	280
(13)	負荷率 (11)/(9) × 100	%	91.3	90.6	91.8	91.1	92.4
(14)	最大稼働率 (9)/(8) × 100	%	74.2	77.0	75.7	76.1	75.5
(15)	施設利用率 (11)/(8) × 100	%	67.8	69.8	69.5	69.4	69.8
(16)	職員数	人	26	28	28	27	27
内訳	損益勘定職員	人	20	21	20	19	18
	資本勘定職員	人	6	7	8	8	9
(17)	供給単価	円/m³	193.22	176.92 (191.14)	177.64 (192.12)	163.49 (193.30)	178.79 (190.04)
(18)	給水原価	円/m³	182.80	174.09	174.23	180.53	182.52

※職員数は管理者を除く。

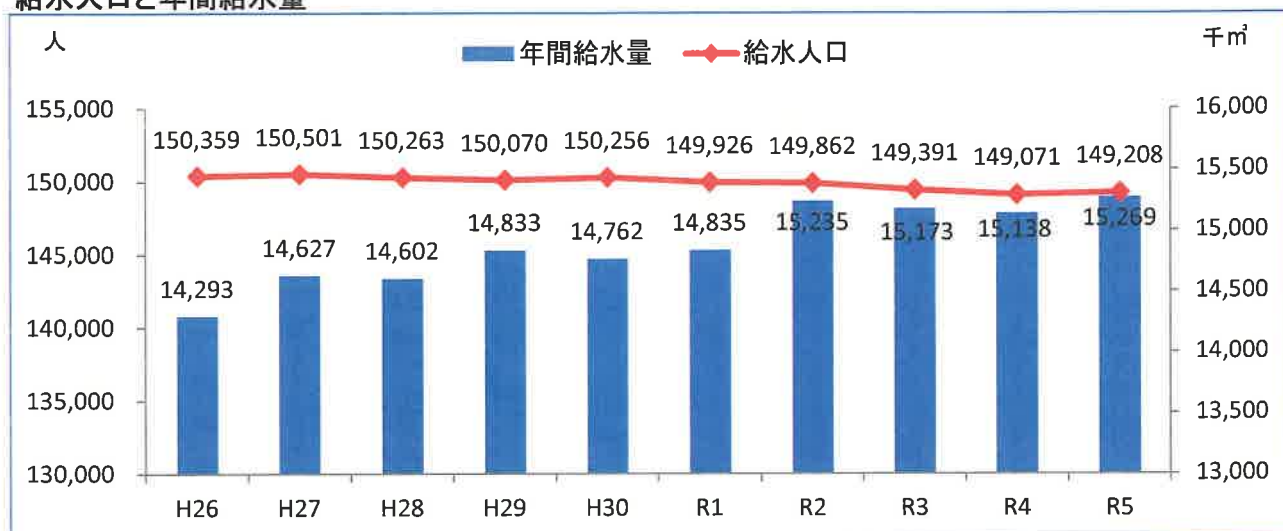
※(17)供給単価の()内は水道料金免除措置がなかった場合の単価

5 水需要の状況について（未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）P14～15）

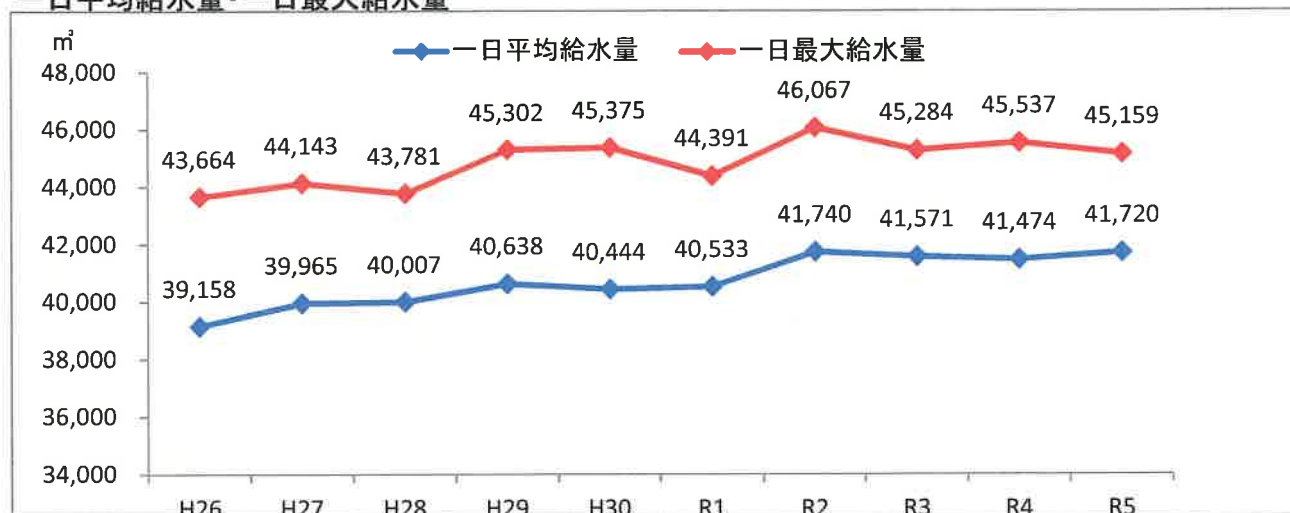
本市の給水人口の過去10年間の推移は横ばいから減少傾向にあります。給水量においては、給水件数が伸びているものの増減を繰り返していますが、令和2年度に給水量が増加した要因は新型コロナウイルス対策として外出自粛・在宅時間の増えたことによるものと思われます。

今後も給水量は企業の景気に伴う変動や気候変動による水道水利用の増減が影響するものの、節水機器の普及や節水意識の向上による生活用水は減少するものと考えられます。

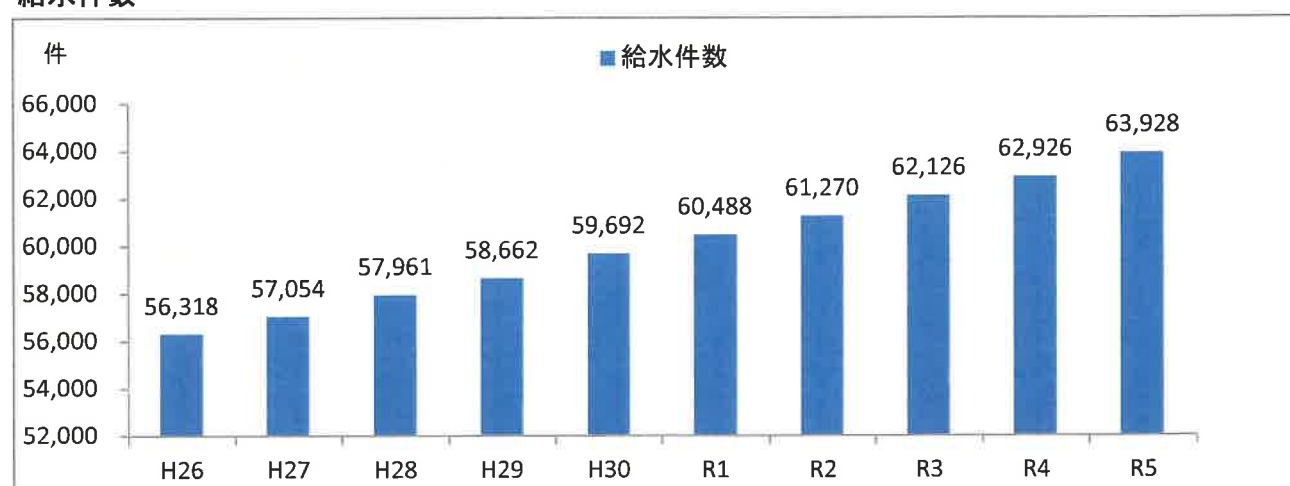
給水人口と年間給水量



一日平均給水量・一日最大給水量



給水件数

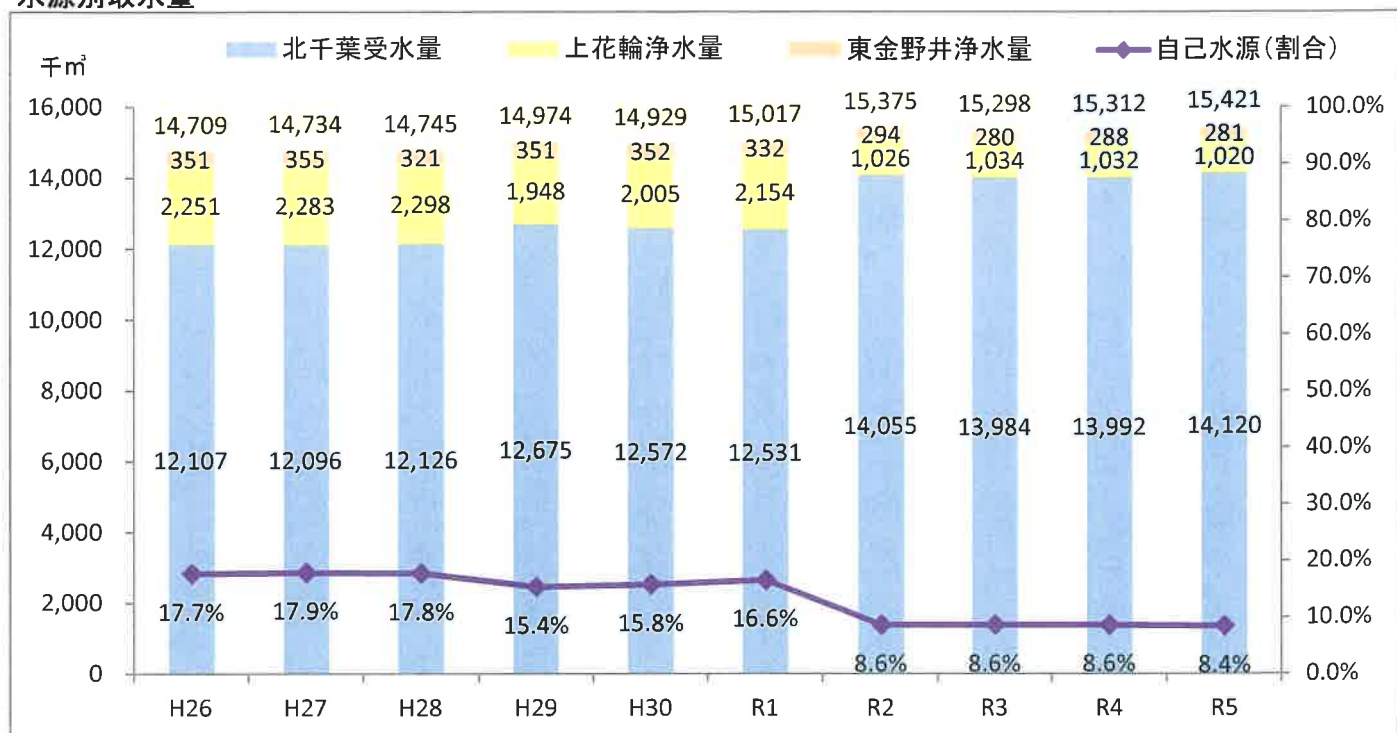


6 水源の利用状況について（未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）P16～17）

本市の水源は、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源（江戸川表流水及び地下水からの取水）の3系統で賄っております。なお、上花輪浄水場は令和9年度までに取水樋管を撤去予定のため、その後は2系統となります。

全体の給水量に対し自己水の割合が減少しているのは、浄水コストと受水費を比較した上で、安価な受水に切り替えているためです。

水源別取水量



○北千葉広域水道企業団の水源及び取水・浄水能力の推移

☆～令和元年度まで
取水能力 507,100m³/日
浄水能力 471,700m³/日

思川開発	0.313m³/S	★2
ハツ場ダム	0.350m³/S	★1
渡良瀬遊水地	0.505m³/S	
奈良俣ダム	1.044m³/S	
北千葉導水	4.320m³/S	

分賦基本水量(単位: m³/日)

野田市	41,000	8.7%
千葉県	201,300	42.7%
松戸市	14,100	3.0%
柏市	93,700	19.8%
流山市	42,500	9.0%
我孫子市	32,900	7.0%
習志野市	17,300	3.7%
八千代市	28,900	6.1%
合 計	471,700	100.0%

☆令和2年度～
取水能力 537,300m³/日
浄水能力 499,800m³/日

思川開発	0.313m³/S	★2
ハツ場ダム	0.350m³/S	
渡良瀬遊水地	0.505m³/S	
奈良俣ダム	1.044m³/S	
北千葉導水	4.320m³/S	

分賦基本水量(単位: m³/日)

野田市	43,400	8.7%
千葉県	213,300	42.7%
松戸市	15,000	3.0%
柏市	99,300	19.8%
流山市	45,000	9.0%
我孫子市	34,800	7.0%
習志野市	18,300	3.7%
八千代市	30,700	6.1%
合 計	499,800	100.0%

☆思川開発稼働後
取水能力 564,400m³/日
浄水能力 525,000m³/日

思川開発	0.313m³/S	
ハツ場ダム	0.350m³/S	
渡良瀬遊水地	0.505m³/S	
奈良俣ダム	1.044m³/S	
北千葉導水	4.320m³/S	

分賦基本水量(単位: m³/日)

野田市	45,600	8.7%
千葉県	224,100	42.7%
松戸市	15,700	3.0%
柏市	104,300	19.8%
流山市	47,300	9.0%
我孫子市	36,600	7.0%
習志野市	19,200	3.7%
八千代市	32,200	6.1%
合 計	525,000	100.0%

★1 ハツ場ダムは令和元年度完成 ★2 思川開発は整備中

◆令和5年度一日平均給水量は、41,720m³/日 ◆令和5年度一日最大給水量は、45,159m³/日

7 事業の運営状況【収入状況】について（未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）P26～27）

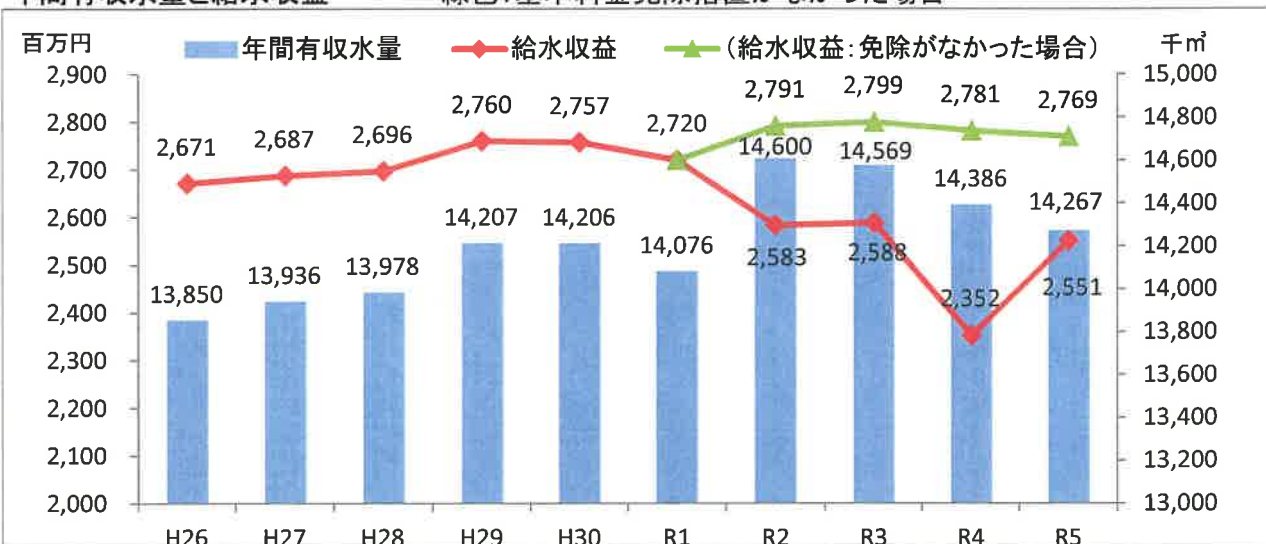
給水収益については、令和2年度から5年度までは新型コロナウイルス感染症の拡大及び物価高騰に伴う経済負担の軽減対策として、基本料金の全額免除（2カ月～4カ月）を実施したことにより給水収益（赤色）が下がりました。

免除措置がなかった場合では、令和2年度と3年度が増加しております。これは、外出自粛により在宅時間が増加し家庭用の有収水量が一時的に上昇したことによりですが、令和4年度以降の給水収益及び家庭用有収水量の動向は、感染状況の沈静化に伴い外出機会が増え在宅時間が減るとともに令和5年度には第5類に移行したこと、また節水機器の普及や単身・高齢者世帯の増加により水需要は減少傾向となっており今後もこの傾向は変わらないと考えます。

なお、工場用については、平成29年度までは景気回復基調により水需要が増加したと考えられますが、平成30年度から令和元年度において、大口需要者の市外転出や地下水併用などにより減少に転じ、その後は新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済活動の低迷や節水機器の普及により水需要は減少傾向となっています。

年間有収水量と給水収益

緑色：基本料金免除措置がなかった場合



家庭用	11,166	11,236	11,298	11,402	11,446	11,464	12,063	12,010	11,824	11,715
工場用	734	755	772	835	769	647	634	605	595	571
その他	1,950	1,945	1,908	1,970	1,991	1,965	1,903	1,954	1,967	1,981

※上記表は、用途別有収水量を表示しております。（単位：千m³）

毎年の給水申込件数及びそれに伴う給水申込納付金は、宅地開発による戸建住宅やアパート建設による水道メーター口径13mm及び20mmが大半を占めております。

給水申込件数と給水申込納付金



給水件数	56,318	57,054	57,961	58,662	59,692	60,488	61,270	62,126	62,926	63,928
------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

8 事業の運営状況【財政状況】について（未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）P28）

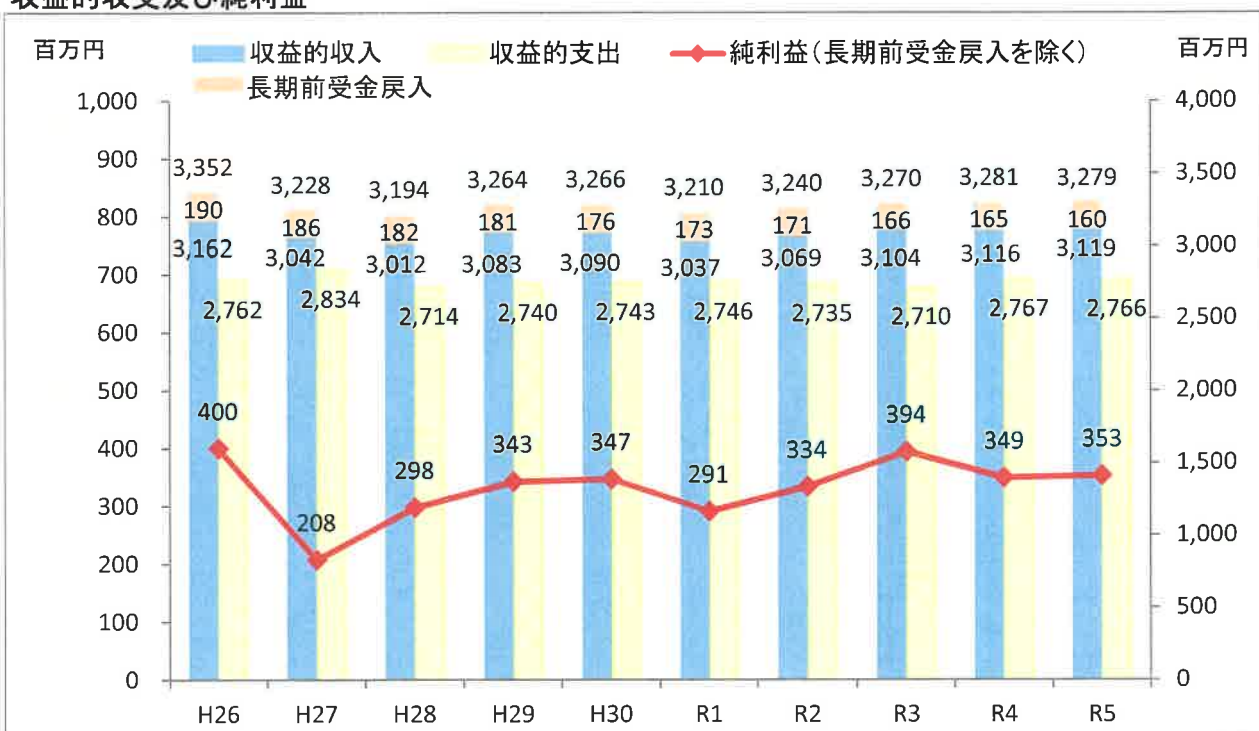
平成27年度の純利益が減少した主な要因として、施設修繕によるものです。施設修繕は毎事業年度の必要な修繕費の額が一定とならず当該年度の費用が増加したことによるものです。

令和2年度と3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛により、在宅時間が増加し家庭用の有収水量が一時的に上昇したことなどによるものです。

また、令和4年度から5年度にかけては、有収水量が減少していますが給水申込金が増加していることから収益的収入も増加しています。また、物価高騰による施設の維持管理に要する委託料などの高騰により、収益的支出も増加傾向にあります。

なお、長期前受金戻入は現金収入を伴わない利益となりますので純利益からは除いて表示しています。

収益的収支及び純利益



人件費	170	188	192	193	186	197	186	182	178	176
動力費	72	65	55	60	66	65	58	63	88	69
修繕費	66	113	69	82	71	62	73	71	60	79
委託料	293	301	293	295	303	325	313	314	364	364
薬品費	24	22	26	17	17	17	12	12	12	15
受水費	973	976	974	980	979	981	980	979	980	983
減価償却費	889	908	922	933	941	945	940	960	975	972
資産減耗費	29	42	14	25	35	29	34	23	19	25
支払利息	131	118	105	92	78	64	51	38	26	15
その他	115	101	64	63	67	61	88	68	65	68

※上記表は、水道事業費用における目的別費用を表示しております。（単位：百万円）

※消費税抜で表示しております。

※長期前受金戻入は、地方公営企業会計制度の改正により平成26年度から収益的収入へ計上しています。

【長期前受金戻入とは】

固定資産（償却資産）の取得又は改良に伴い交付された補助金、一般会計負担金等については、「長期前受金」として計上し、減価償却見合い分を順次収益化するものです。

9 事業の運営状況【投資額と補てん財源】について

(未来構想 水道ビジョン野田(経営戦略) P30～31)

平成26年度から損益勘定留保資金が減少傾向となっている要因としましては、当該年度より老朽管の更新工事の取り組みについて更新スピードを上げたこと及び配水管が未整備(市道に布設されていない場合)であり、給水接続を要望する方に対し、待機期間の短縮(待機者ゼロ)を図る取り組みを実施したことによるものです。

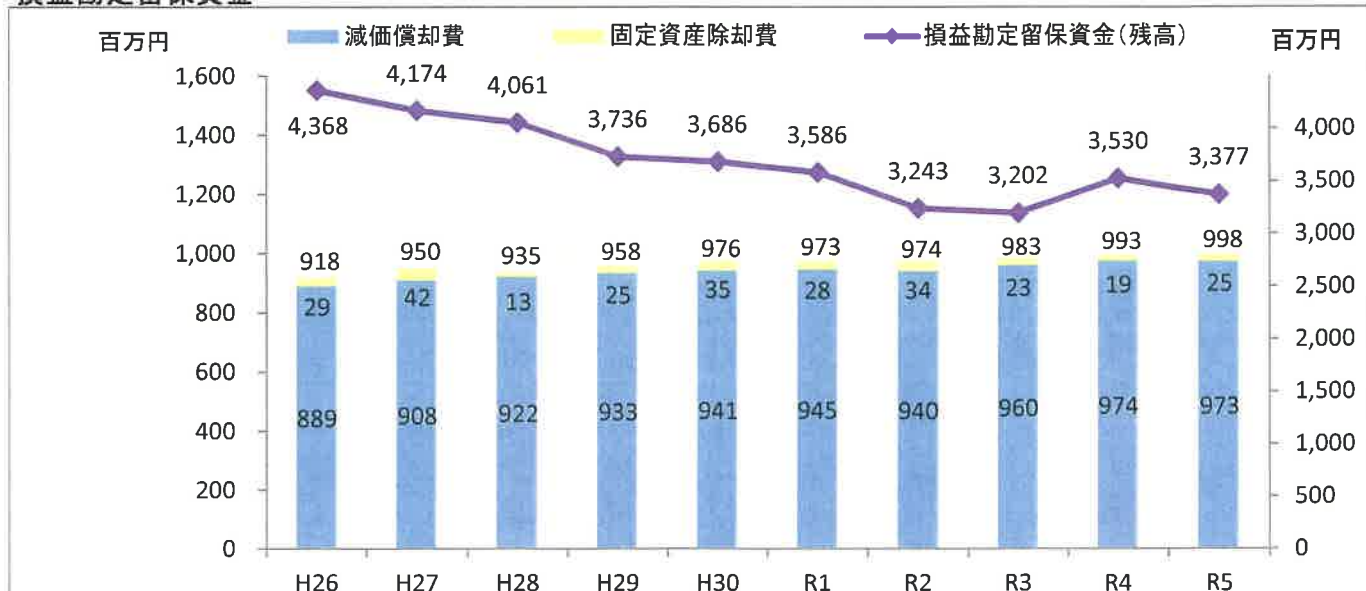
施設設備工事費につきまして、令和2年度が大きく増加したのは、水道施設管理棟(お客様センター)建設事業新築工事によるものです。また、令和4年度の施設設備工事費の減少、令和5年度の増加については、令和4年度からの約2億円の工事費繰越によるものです。

資本的支出(投資額)



※上記表は、資本的支出(投資額)に対する補てん財源を表示しております。(単位:百万円)

損益勘定留保資金



10 企業債の償還状況について

(未来構想 水道ビジョン野田 (経営戦略) P32)

企業債 (元金) 年度別定期償還額及び年度末残高

(単位: 円)

	定期償還額	平成 11 年度までの 借入分年度末残高 ①	令和 6 年度からの 借入分年度末残高※ ②	借入年度末残高 ①+②
元	332,636,355	1,548,867,518		1,548,867,518
2	344,397,544	1,204,469,974		1,204,469,974
3	316,363,967	888,106,007		888,106,007
4	320,057,385	568,048,622		568,048,622
5	205,959,999	362,088,623		362,088,623
6	152,697,822	209,390,801	300,000,000	509,390,801
7	99,635,012	109,755,789	468,900,000	578,655,789
8	62,997,068	46,758,721	818,900,000	865,658,721
9	28,628,554	18,130,167	2,135,700,000	2,153,830,167
10	16,622,062	1,508,105	2,526,600,000	2,528,108,105
11	1,508,105	0	2,526,600,000	2,526,600,000
12	28,671,371		2,497,928,629	2,497,928,629
13	45,100,783		2,452,827,846	2,452,827,846
14	79,002,852		2,373,824,994	2,373,824,994
15	205,643,060		2,168,181,934	2,168,181,934
16	245,063,426		1,923,118,508	1,923,118,508

※令和 6 年度からの借入分年度末残高は、中根配水場浄水施設建設事業及び上花輪浄水場再構築等建設事業による企業債借入予定額です。

11 野田市水道料金の推移について（未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）P34～35）

※基本料金は1ヶ月分
※基本料金及び従量料金ともに税抜額

				昭和56 年度	昭和62 年度	平成5 年度	平成9 年度	平成15 年度	平成19 年度	平成20 年度	平成21年度	平成22 年度	令和5 年度
水道 料金	基本 料金	13mm	10m ³ まで	900円	1,100円	1,400円	1,600円				1,480円		1,480円
		20mm		1,100円	1,400円	1,800円	2,000円				1,850円		1,850円
		25mm		1,300円	1,600円	2,100円	2,400円				2,230円		2,230円
		40mm		2,100円	2,500円	3,500円	3,900円				3,620円		3,620円
		50mm		3,400円	3,800円	5,300円	5,900円				5,470円		5,470円
		75mm		7,500円	8,200円	11,400円	12,600円				11,680円		11,680円
		100mm		12,500円	13,500円	18,800円	20,700円				19,190円		19,190円
		150mm		27,000円	29,500円	40,000円	43,900円				40,700円		40,700円
		200mm		38,300円	42,800円	55,000円	60,400円				55,990円		55,990円
	従 量 料 金	13mm	11m ³ ～20m ³	90円	100円	110円	115円				105円		105円
		20mm	21m ³ ～40m ³	130円	155円	180円	195円				180円		180円
		25mm	41m ³ ～100m ³	175円	215円	255円	285円				265円		265円
			101m ³ 以上	225円	270円	320円	350円				325円		325円
		40mm	1m ³ ～10m ³	70円	80円	90円	100円				95円		95円
		50mm	11m ³ ～20m ³	90円	100円	110円	115円				105円		105円
		75mm	21m ³ ～40m ³	130円	155円	180円	195円				180円		180円
		100mm	41m ³ ～100m ³	175円	215円	255円	285円				265円		265円
		150mm	101m ³ 以上	225円	270円	320円	350円				325円		325円
		200mm											
		北千葉基本料金令和2年度から53円											
北千葉広域 水道企業団 受水費	基本 料金					82円		79円		57円			53円
	使用 料金					15円		15円		10円			10円

※平成21年度の水道料金値下げは北千葉広域水道企業団の受水費の値下げによるもの。

※平成19年度～平成21年度の繰上償還については、水道料金の値下げに反映していない。

〔参考〕 給水人口1人当たりの配水管延長比較（近隣5市）

	給水人口（人）	配水管延長（m）	1人当たりの管延長 配水管延長／給水 人口（m）	給水区域（km ² ）	市域の面積 （km ² ）	人口密度 （人／km ² ）	総人口 （人）
野田市	149,071	975,954	6.55	94.11	103.55	1,483	153,600
流山市	208,589	703,397	3.37	35.31	35.32	5,924	209,237
我孫子市	122,676	539,973	4.40	44.45	43.15	3,035	130,959
柏市	410,137	1,458,253	3.56	114.74	114.74	3,784	434,156
松戸市	80,187	216,559	2.70	8.99	61.38	8,103	497,342

※東葛地区水道事業協議会構成6団体の「事業概要（令和4年度実績）」及び「令和4年度千葉県の水道」による。

※野田市は、近隣市に比べ給水人口1人当たりの配水管延長が長いため、維持管理等に必要な費用も必然的に多くなる。